

令和元年6月22日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K02402

研究課題名(和文) 1950年代文化運動における農村女性文学の研究：山代巴と無名の書き手たち

研究課題名(英文) Women's Literature in Rural Japan and Cultural Movements in the 1950s: Yamashiro Tomoe and Grassroots Female Writers

研究代表者

宇野田 尚哉 (Unoda, Shoya)

大阪大学・文学研究科・教授

研究者番号：50324893

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、キーパーソンとして、女性作家であると同時に農村における女性人権活動家でもあった山代巴に注目して、1950年代の文化運動についての研究をジェンダー化することを試みた。本研究では、「山代巴関係文書」やその関連資料の精査を通じて、農村女性の無名の書き手たちが山代巴とのやりとりのなかで表現者として立ち現れてくるさまを明らかにした。また、本研究では、山代巴は農村の女性運動においてだけでなく初期の被爆者運動においても重要な役割を果たしていること、山代の農村女性に対する態度と被爆者に対する態度には通底するものがあったことを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

戦後日本の思想や運動は、基本的には都市に住む男性の知識人や活動家を中心に研究されてきた。近年資料復刻・実証研究の両面で大きな成果を挙げている戦後文化運動研究の場合も同様である。それに対し、本研究は農村の女性という二重に周辺化された存在に、山代巴という研究史上必ずしも重視されてこなかった人物に視点を据えることで、光を当てた。そのようなたちで戦後日本の民主主義の草の根的基盤のこれまで注目されていなかった部分に光をあてたという意味で、本研究は大きな学術的意義のみならず社会的意義も持つ。

研究成果の概要(英文)：This research studied the cultural movements in Japan during the 1950s by focusing on Yamashiro Tomoe, a women's human rights activist and female writer in rural Hiroshima. This research elucidated how those who were influenced by Yamashiro Tomoe became female grassroots writers through analyzing the Yamashiro Tomoe Papers and other first materials of the cultural movements in Bingo area. The outcomes of this research contributed to gendering existing studies on cultural movements in Japan. Furthermore, this research clarified that Yamashiro Tomoe played an important role not only in the women's human rights movement, but also in the early stage of the hibakusha movement.

研究分野：日本思想史・社会運動史

キーワード：山代巴 生活記録 被爆者運動

1. 研究開始当初の背景

本共同研究開始の背景には、1950年代を中心とする時期の文化運動(いわゆる戦後文化運動)への関心の高まりがあった。いまだ貧しく、朝鮮戦争を背景として政治的対立も熾烈であった当時、多くの無名の人々が、さまざまなサークル運動のかたちをとって手を結び合い、現状とは異なるすなわち豊かで平和な社会を求めて、声を上げた。本共同研究チームは、そのような対抗的文化運動としてのサークル運動の中核的資料 金時鐘ら大阪朝鮮詩人集団の『チンダレ』や、峠三吉ら広島のをれらの詩の会の『われらの詩』などの復刻・研究を担ってきた研究者からなるが、そのような研究者の間では、これまでの復刻・研究が、都市の男性労働者や知識青年の手に成った資料に偏っているということが、つねづね問題として指摘されていた。1940年代後半から農村文化運動を担い、そのなかでとくに女性への働きかけを行った山代巴と、その周辺の女性の書き手たち、さらには彼らと比較対象とすべき存在が、研究対象として浮上してきたのは、研究の現状に対するそのような反省に基づいてのことであった。

2. 研究の目的

獄中非転向を貫いて戦後を迎えた女性作家山代巴(1912-2004)は、戦後もあえて故郷備後(広島県東部)の農村に留まって女性を対象とする文化運動に従事するとともに、峠三吉らの求めに応じて広島に出て被爆者を組織化する運動にも関与した。その際に山代が重視したのは、農家の嫁や被爆者など、弱い立場に置かれて語るべき言葉を持たない人々に地道に言葉を与え、主体化を促すことであった。本研究の目的は、「山代巴関係文書」(広島大学文書館所蔵)をはじめとする諸資料により、山代を取り巻く無名の人々が語るあるいは書くという行為を通じて主体化を遂げていくさまを具体的に明らかにするとともに、そのような無名の人々に支えられた山代の作品世界の特質を明らかにして、戦後日本文学の裾野を照射することであった。

3. 研究の方法

幸いなことに、山代巴の関係資料は、「山代巴関係文書」(広島大学文書館所蔵)といったかたちで、膨大な分量が遺されている。また、1940年代後半から60年代にかけて山代巴の文化運動上の盟友であった人物たちの資料も、「峠三吉資料」(広島市立中央図書館所蔵)、「重家豊資料」(広島市公文書館所蔵)、「川手健資料」(広島大学文書館所蔵)、「大牟田稔関係文書」のうち)、「大牟田稔関係文書」(広島大学文書館所蔵)とったかたちで、これまた膨大な分量が遺されている。ここには、山代巴をはじめとする運動当事者のノートや手稿の類に加えて、当時発行されていた孔版や活版の冊子が大量に含まれていて、農村女性や被爆者はどのような働きかけを受けてどのような表現をするに至ったのかを具体的に分析することができる。本研究では、以上のような資料群を基盤としつつ、さらには備後の農村で山代巴を中心とする女性の生活記録運動を担った内田千寿子らの資料や、山代巴が東京に移ったのちに運動をともにした牧瀬菊枝の資料をも参照しつつ、研究を進めた。

4. 研究成果

本研究は、1950年代の文化運動についての研究の高揚を背景として始まった。先行する研究は都市に住む男性の知識人や活動家をおもな対象としていたため、本研究では、キーパーソンとして、女性作家であると同時に農村における女性人権活動家でもあった山代巴に注目して、1950年代の文化運動についての研究をジェンダー化することを試みることにした。本研究では、「山代巴関係文書」やその関連資料の精査を通じて、農村女性の無名の書き手たちが山代巴とのやりとりのなかで表現者として立ち現れてくるさまを明らかにした。また、本研究では、山代巴は農村の女性運動においてだけでなく初期の被爆者運動においても重要な役割を果たしていることを指摘し、山代の農村女性に対する態度と被爆者に対する態度には通低するものがあったことをも明らかにした。

なお、本研究のなかで作成した山代巴の著作目録は、いまだ未刊であるが、さらに精査のうえ完成させて、そのほかの研究成果ともあわせて、近日中に公開する予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 3件)

黒川伊織「母が「母の歴史」を語るとき：牧瀬菊枝と生活記録運動、女性史への道」『社会文学』第47号、2018年、57-69頁、査読有

竹内栄美子「プロレタリア文学から戦後文化運動へ」『昭和文学研究』第74号、2017年、89-101頁、査読有

川口隆行「山代巴「或るとむらい」論：朝鮮戦争と原爆表現の生成」『社会文学』第43号，2016年，119 - 130頁，査読有

〔学会発表〕(計 1件)

宇野田尚哉，キアラ・コマストリ『「原爆に生きて」から『この世界の片隅で』へ：山代巴を中心に』，原爆文学研究会，2018年

〔図書〕(計 1件)

宇野田尚哉，川口隆行他編，黒川伊織，竹内栄美子他著『「サークルの時代」を読む：戦後文化運動研究への招待』影書房，2016年，366頁

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究分担者

研究分担者氏名：竹内栄美子

ローマ字氏名：(TAKEUCHI, Emiko)

所属研究機関名：明治大学

部局名：文学部

職名：専任教授

研究者番号(8桁)：(00236415)

研究分担者

研究分担者氏名：川口隆行

ローマ字氏名：(KAWAGUCHI, Takayuki)

所属研究機関名：広島大学

部局名：教育学研究科

職名：准教授

研究者番号(8桁)：(30512579)

研究分担者

研究分担者氏名：黒川伊織

ローマ字氏名：(KUROKAWA, Iori)

所属研究機関名：神戸大学
部局名：国際文化科学研究科
職名：協力研究員
研究者番号（8桁）：50611638

(2)研究協力者

研究協力者氏名：

ローマ字氏名：

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。